

編集後記

50周年という、本協会の半世紀に及ぶ歴史の歩みを振り返り、ここに記念誌として記録に留め得たことに深い感慨を禁じ得ません。

建築に携わる者は誰しも、その時代のニーズと技術的制約の中で身もたえしながら、生命の安全と財産の保全を至上命題として建築の可能性を追及して参りました。それはなにも、この50年間に限ったことではありませんが、この間の直近の10年間ほど、建築の信頼を巡って世論が沸き立ち、制度が大きく見直された矢先に、今度は自然災害の猛威が容赦なく襲い掛かるという、建築にとっては稀有な巡りあわせだったのではと思わずにられません。

とりわけ2011年3月の東日本大震災は、想定を超える大津波により、海辺の街並みと、そこで支え合って生きる人々の暮らしを根こそぎ押し流しました。そして、1万8000人を超える多数の死者・行方不明者とともに、町は一瞬にして膨大な瓦礫の山と化しました。加えて、東京電力の福島第一原子力発電所の事故は、被災地の復旧・復興事業をさらに困難の淵に追いやり、今日に至るも収束の見通しすら立っていません。

しかしいま、眼前にいかなる絶望の風景が立ち塞がろうとも、私たちはその歩みをここで止めるわけにはいきません。本協会の輝かしい歴史を築いてこられた諸先輩からのバトンを、次の世代に確実に手渡す責任が私たちにはあるからです。そしてそれは、不幸な巡りあわせによって失われたかに見える建築への信頼回復に繋がるバトンパスでなければなりません。

ここに上梓した50周年記念誌が、次世代への建築的知見のバトンとなることを祈って止みません。

この記念誌発行に当たり、資料の掘り起しなどで陣頭指揮をとられた野呂敏秋会長をはじめ、草創期の貴重なお話を伺うことができた内海重一氏や、寄稿にご協力を頂いた両副会長、各常置委員会委員長の皆様、そして編集に惜しみないご協力をいただいた(株)建通新聞社の高橋修氏に厚く御礼と感謝を申し上げます。

2012年12月6日



50周年記念誌編集委員会
委員長 古川 修治

50周年記念誌編集委員会委員名簿

担当役職名	委員氏名	事務所名	備考
委員長	古川 修治	(株)創設計	広報委員長
委員	盛 勝昭	(株)盛興業社	広報委員
委員	黄金崎 勉	(株)黄金工務店	広報委員
委員	浅利 勉	(有)浅利建築設計事務所	広報委員
委員	山内 英夫	エイコウコンサルタンツ(株)	広報委員
委員	白戸 裕敏	(株)白勝建設一級建築士事務所	広報委員
委員	亀田 俊彦	(有)テクノ・エンジニアリング一級建築士事務所	広報委員
委員	高橋 修	(株)建通新聞社	賛助会員
委員	千葉 文雄	(株)中央コピーセンター	賛助会員